

Title: 迷いながらも一ツ事



池田 篤彦  
1984年東京生まれ茨城育ち。  
神奈川在住。  
自分の写真と音楽に向き合い、「現場」での快感を大切にして、大いに楽しみながら作品撮影・制作をします。

撮影地は植民地時代に、ある産業で栄えた街。ゆえに現在の大都市・リゾート・地方の街など様々です。

基本記載日付が出来事の日付です。



(▲2ヶ月経過)



(▲4ヶ月経過)



(▲6ヶ月経過)

● 最近のエントリー

- ☑ 最後の制作  
(2013.02.26)
- ☑ 卒業まであと少し。  
(2013.02.22)
- ☑ ここ行くのよこと  
(2013.02.17)

● アーカイブ

- ☑ 2013年03月
- ☑ 2013年02月
- ☑ 2013年01月
- ☑ 2012年12月
- ☑ 2012年11月
- ☑ 2012年10月
- ☑ 2012年09月
- ☑ 2012年08月
- ☑ 2012年07月
- ☑ 2012年06月
- ☑ 2012年05月
- ☑ 2012年04月
- ☑ 2012年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

- ☑ [00]日本《ブログ》  
【-03/16】
- ☑ [01]韓国  
【03/17-03/23】
- ☑ [02]台湾  
【03/23-03/30】
- ☑ [03]ベトナム  
【03/30-04/15】
- ☑ [04]カンボジア  
【04/15-04/29】
- ☑ [05]タイ  
【04/29-05/15】
- ☑ [06]マレーシア  
【05/15-06/04】
- ☑ [06]マレーシアSC1  
【05/26-06/04】
- ☑ [07]シンガポール  
【06/04-06/10】
- ☑ [07]マレーシア体委  
【06/10-06/14】
- ☑ [08]インド  
【06/14-07/06】
- ☑ [09]ネパール  
【07/06-07/21】
- ☑ [10]中国  
【07/21-08/10】

迷いながらも一ツ事 > 2013年02月 アーカイブ

13.02.26

最後の制作

[Tweet](#)

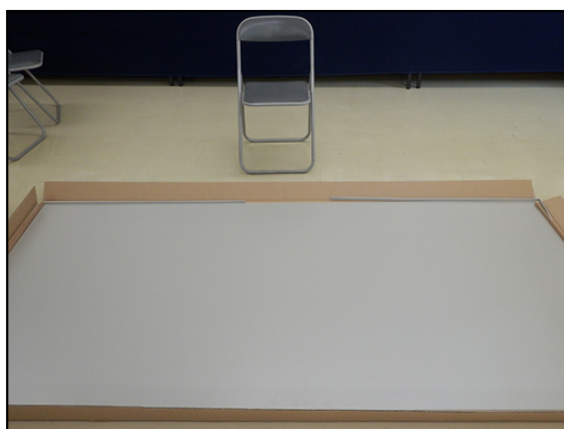
[Check](#)

卒業作品展の展示物で最後まで残っていた最大サイズの加工を学校でしました。プリントを張り付ける板材をインターネットで注文し学校に直接送ってもらいました。当初予定では昨日作成できる予定だったのですが、配送のアクシデントで不良品が届いたので返品交換したため今日になりました。交換品はきちんと梱包もされ、曲がりや当たりもなく、制作に移れました。

貼り付け前にプリントの準備、A1ノビの幅で二分割で印刷してあるのでまずは接合作業です。

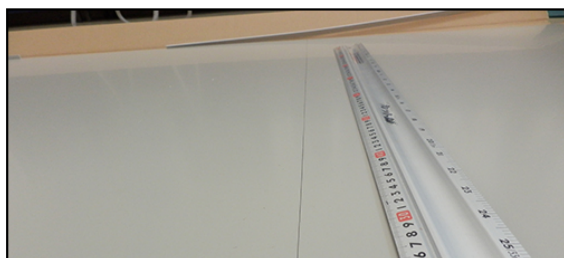


ずれなく貼り合わせが出来ました。



届いた板は大きく。。。。

使用するサイズ1800mm×1200mmをカッターでカットしていきます。戸板より大きいです。



- ☑ [11]マレーシアSC2  
[08/10-08/20]
- ☑ [12]西郷聖ベトナム  
[08/20-08/31]
- ☑ [13]西郷聖台湾  
[08/31-09/08]
- ☑ [14]西郷聖韓国  
[09/08-09/13]
- ☑ [15]日本・武生《エピソード》  
[09/14-09/22]
- ☑ [16]日本《After Story》  
[09/22]
- ☑ ・撮影
- ☑ ・器材・技術
- ☑ ・移動
- ☑ ・行先
- ☑ ・訪問記
- ☑ ・雑記
- ☑ ・金へ物写真

○ブックマーク

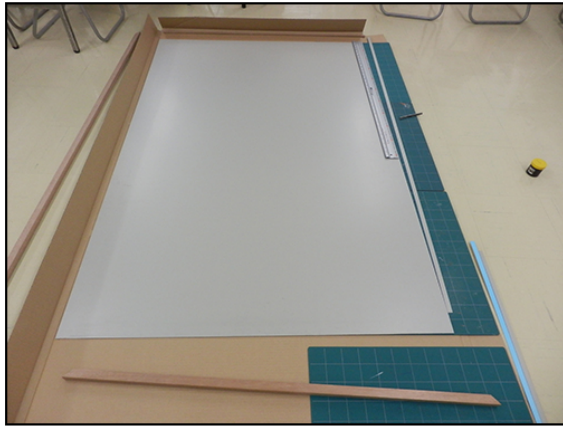
学校法人 日本写真芸術専門学校  
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0



板の表面にガイドラインを引いて、カッターを同じ場所に対し100回位繰り返し入れて少しずつ切っていきます。  
アルミ複合板なので焦って刃を入れると曲がりが発生するので慎重に作業します。



オモテ面に表返し、ブルーの保護シートを剥がします。



スプレーのりをまんべんなく塗布します。

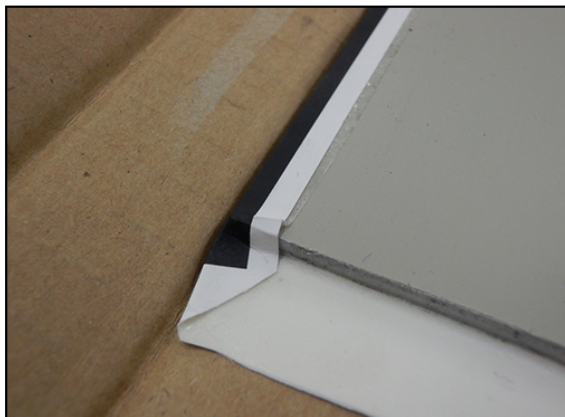




空気が入らないよう注意しながら貼り付け。スポンジで空気を抜きながら。

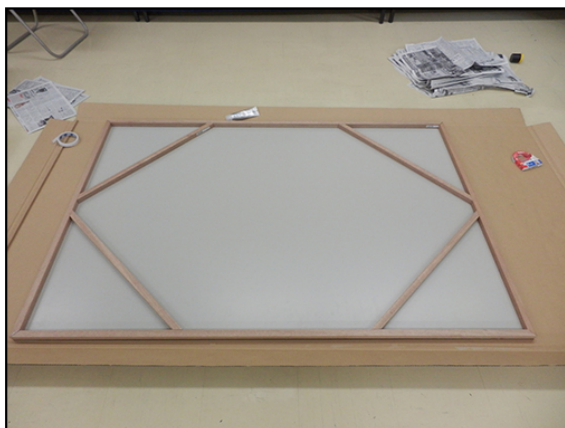
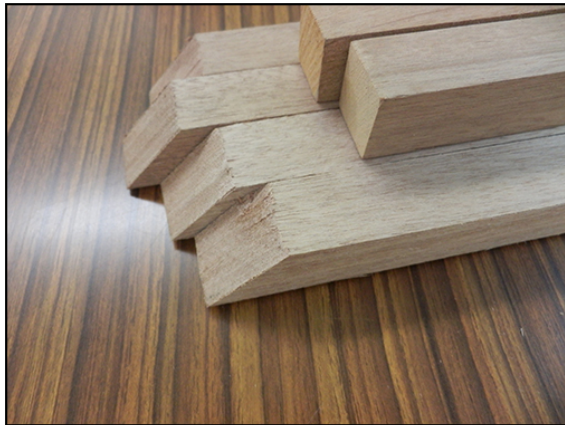


四辺のアルミ板より大きい外に出る部分に両面テープを振り板の表側に貼り付けます。



板の四隅四角は折り返し折り込みます。

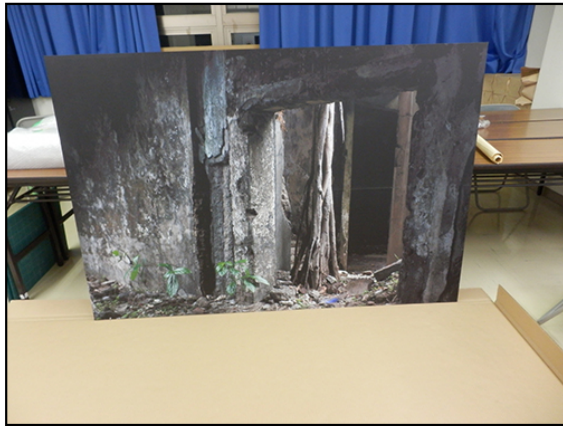
貼り終えた板の裏に、両端を45度にカットした角材を貼っていきます。



速乾の多機能ボンドで貼り付けると便利です。



板と構造強化が出来たら四辺は水張りテープ（表面に糊がついていて、ぬれぞうきんで濡らせながら使う）で貼って行きます。



昼過ぎに板材が届いてから、夕方やっと完成！無事に納めました。

これで、平展に向けての準備は整いました。ほんとうにあっという間ですね。先日に引き続き追加でお知らせです。3月14日～の作品展ですが14日は卒業式なので、その日写真展会場に我々はほぼ立ち会うことができません。遅しからずご承知置きください。

カテゴリ: [\[16\]日本《After Story》](#)  
[\[09/22\]](#)  
[・機材・技術・雑記](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2013.02.26 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[深いながらもノーズ](#) > 2013年02月アーカイブ

13.02.22

卒業まであと少し。

[Tweet](#)

[Check](#)

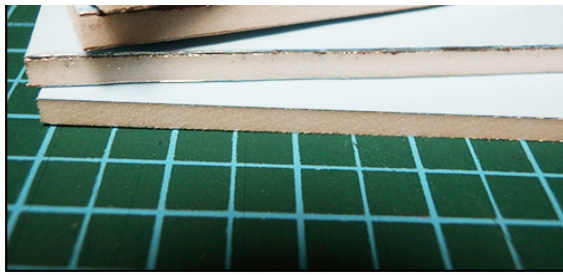
最後まで残した最大サイズのパネル張りに向けて、その土台になる板材のサンプルを手に入れました。

ネット販売のサイトを通じて名刺判サイズを無料で送っていただきました。大判ロールプリントの用紙もそうでしたが、良く探すとサンプルを送ってくれるところは結構あるようです。助かります。

A1までの中判サイズは硬質塩ビ板に貼り付けていたのですが、各辺1mを超えるものは、たわみや加工性を考えて硬質プラスチック材をアルミ薄板でサンドしたアルミ複合板で加工することになりました。

看板に使う材料なので平面性や耐候性も問題なさそうです。実は価格面も塩ビ板と比較してあまり変わらず良好です。





厚み3mm。早速届いたサンプルのカットテストをしてみました。  
薄刃のカッターと金尺（金属製定規）を使って上手にやると切り口も滑らかに（金属特有のバリも出ず）切断することが出来ました。  
早速注文して、手配しました。月曜日に学校で加工します。  
このサイズの加工はもちろん初めてになるので、やり方等よく検討しながらやっていくこととなります。

自分で加工するのは大変なこともあります。最後まで自分の納得いく形で作品を仕上げられるので嬉しいです。

カテゴリ: [\[16\]日本《After Story》](#)  
[\[09/22\]](#)  
[追加](#)

post by: 池田 篤彦 | 日時: 2013.02.22 | [バーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[深いながらもーツ室](#) > 2013年02月アーカイブ

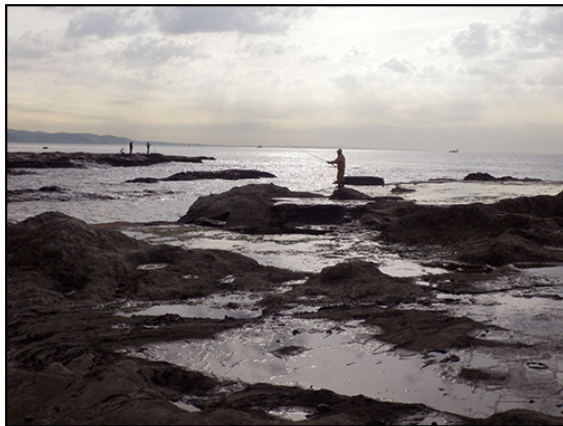
13.02.17

## ここ暫くのこと

[Tweet](#)

[Check](#)

前回の更新からいつの間にか一月以上が経ってしまいました。  
季節は移り変わり、もっとも寒さ厳しい季節でありながら、突如の季節への兆しが着実に見える日々です。



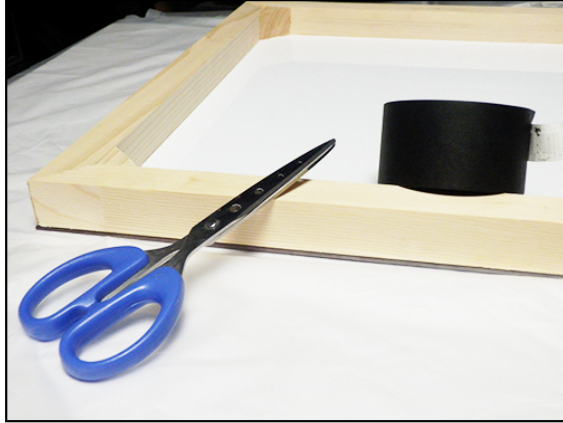
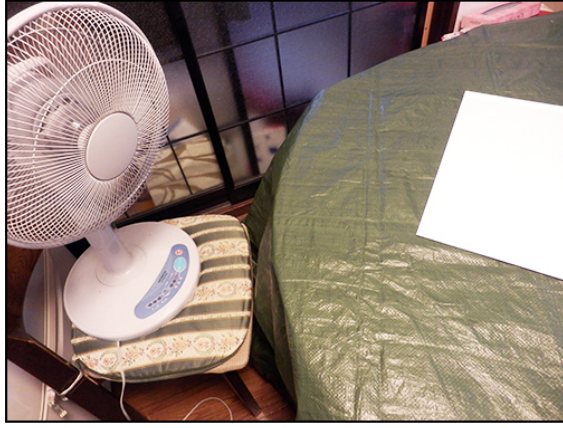
先日、江の島を訪れました。自宅からは自転車で一時間の近距離にありながら江島神社へは一年前に旅の安全を祈願しに来て以来です。一年前の事を思うととても懐かしい思い出でした。



先日卒業審査もあり、この学校での授業も全ておわりました。

8期生がプランニングウィークに入った様子で、思い返してこの一年を思うと本当にあっという間でしたね。

卒業作品展に向けて制作も続けています。





A2、A1のプラスチック板へのプリントの貼り付けは終わり、木材の加工も終わりました。現在は最終工程の木材の取り付けに入っています。A2は終わり残るはA1の仕上げと、学校で加工する予定の最大サイズ(120cm×180cm)の加工だけになりました。

フィールドワークゼミの卒業作品展は東京小川町のオリンパスギャラリー東京にて3月14日(木)～19日(火) 10:00～18:00 最終日15:00まで 日曜・祝日休館 神田小川町交差点そばです。

卒業までやらなくてはならないことが山積ですが、一つ一つ解決していきたいと思いません。

カテゴリ: [\[16\]日本《After Story》](#)

[\[09/22\]](#)

[・ 機材](#) [・ 技術](#) [・ 雑記](#)

post by [池田 篤彦](#) | 日時: 2013.02.17 | [バナーリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)